

Business Report

[第83期 中間報告書]

2011.4.1-9.30

- P.01-04 トップインタビュー
文化産業の担い手として
- P.05-06 グループ会社のマネジメント体制の見直し
- P.07-08 財務諸表
- P.09-10 トピックス・会社概要

すべてはホスピタリティから。



燦ホールディングス株式会社

Top Interview

文化産業の 担い手として

代表取締役社長 古内 耕太郎



「グリーンケア」の 機能を果たす葬儀を提供

愛する人をきちんと送ってあげたい。

本年3月11日に発生した東日本大震災以後、そう考える方が増えてきているのではないのでしょうか。家族を亡くされた方々が打ちめされ、途方にくれる姿がテレビなどを通じて連日報道されるのを見て、命や絆の大切さについて考えるようになり、人々の葬儀に対する考え方も変化してきているように感じます。

社会環境の変化を背景に、「葬儀は、なるべく安くして簡素で良い」、「いっそ、葬儀自体も必要ないのではないか」、このような考え方をよしとする風潮が数年前からありました。私たち燦ホールディングスグループは、一貫して、葬儀本来の意義と役割を大切にする葬儀の提案を行っています。

そもそも、私たちが事業としている葬儀と

いうものは、ご遺族の悲しみをケアするという「グリーンケア」の仕組みそのものです。これは、日本の中でずっと受け継がれてきた文化ですが、簡略化された葬儀が増えてきたことにより、この仕組みや機能が薄れ、大切な人を亡くした悲しみから立ち直ることが難しくなっています。私たちは、「グリーンケア」の機能を果たす葬儀をそれぞれのご家庭の事情に合うようオーダーメイドし、ご提供しています。

そういった葬儀に従事するスタッフは、ご家族の問題を解決するコンサルタントのような存在でなければなりません。高い専門性を持ち、心をこめたホスピタリティのサービスを提供できる人材力が、私たち燦ホールディングスグループの強みです。



グループ一体となって、質の高い顧客対応を目指す。

第I期中期経営計画の重点課題「グループ会社のマネジメント体制の見直し」の一環として、10月1日に公益社を中心とした新体制をスタートさせました。霊柩車及びマイクロスバスの運行サービスを提供する関西自動車と、返礼品や仏壇・仏具販売等、葬儀後のサービスを提供するユナイを公益社に合併。エクセル・スタッフ・サービスの人材派遣事業と湯灌事業を廃止し、公益社がスタッフを直接雇用し、湯灌事業は公益社に新設することとしました。

今回のグループ再編の目的は、利益率の向上と顧客サービス力の強化にあります。ここ数年、葬儀が小規模化し、単価も下落しています。そうした状況の中、現在と今後の葬儀の規模に見合ったコスト構造に変えていかなければなりません。そこで、一つの会社に統合することで業務効率の向上を図り、利益を生み出す構造を目指します。また、複数の会社が集約されることにより、一連のサービス(事前相談から葬儀後のサービスまで)を提供できる組織に進化します。

※湯灌:ご遺体を洗い清めること

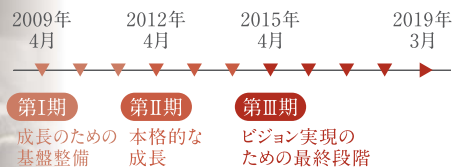
第II期中期経営計画では、新規会館の積極展開を推進。

本年度は、第I期中期経営計画「成長のための基盤整備」の最後の年となりました。計画はほぼ順調に推移し、成果も見えつつあり、2012年4月からは、いよいよ第II期中期経営計画がスタートします。私たちは、「本格的な成長」の一環として、2011年から新規会館の開設(低投資多店舗展開)および既存会館のリニューアルに着手しています。すでにその助走として、「公益社 田園調布会館」(3月)、「公益社 森小路会館」(4月)、「公益社 住吉御影会館」(5月)、

「公益社 学園前会館」(11月)を開設しました。

第II期中期経営計画では、首都圏・関西圏を中心にさらに会館数を増やし、営業エリアの拡大を図っていきたくと考えています。このような積極展開は、収益力を上げるために、事業の再構築(利益を生み出す仕組み)など、“企業体質の改善”を着実にやってきたからこそできることです。効果的な集客を実現して、いかに営業エリアの拡大を行うかが、次の重要課題です。

■「10年ビジョン」達成のための中期経営計画プロセス



■第I期「成長のための基盤整備」4つの重点課題

- 理念と行動規範の浸透
働く人々に生き生きとした「やりがい」を自覚してもらい、グループ全体としての求心力を高めるため、理念の浸透と、行動への落とし込みを追求する。
- グループ会社のマネジメント体制の見直し
グループ各社への役割期待を再定義するとともに、全体最適の実現のためにグループのマネジメント体制を整備する。
- 今後の成長に必要な資源の確保
成長に必要な、ヒト(人材の育成・調達)、モノ(ハードとソフトの整備)、カネ(資金)を準備・調達する。
- コアコンピタンスに立脚する戦略の展開
我々の強みが何であるのかを改めて見直し、その強みを活かした戦略を策定して実行していく。

葬祭事業は“文化産業”。
文化の機能・役割を継承しつつ、
新しい時代にあった
葬儀を提供していきます。

現在、私たち日本人は、非常に厳しい経済状況におかれています。新製品を生み出すことで時代をリードしていくような自動車や家電などのメーカーは、いわば“文明産業”です。それに対して、葬祭事業は、古くからの葬送・供養文化を今に受け継ぐ“文化産業”です。先人がつくりあげた意味のある仕組みであり、そこには変えてはならないこともあります。

私たち燦ホールディングスグループは、文化の機能・役割を継承しつつ、時代のニーズに応じてサービスを進化させることにより、成長を目指します。株主の皆さまには、今後ともご支援を賜りたいと思います。



葬儀とグリーフケアをテーマに様々な会合やセミナーで講演



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS



グループ会社の マネジメント体制の見直し

燦ホールディングスグループの 中核会社である公益社 利益率向上とサービス力強化へ

葬儀を取り巻く環境の変化に対応し、平成23年10月1日付にて、霊柩車および送迎バスの運行サービスを担う関西自動車(株)、そして、ご葬儀後の各種サービス(仏壇仏具、墓地墓石、法事法要、返礼品、相続他諸手続き、その他)を担う、(株)ユーアイを(株)公益社に吸収合併いたしました。また、平成23年9月30日付にて、エクセル・スタッフ・サービス(株)の事業のうち、人材派遣事業および湯灌事業を廃止し、平成23年10月1日付にて、(株)公益社による派遣スタッフの直接雇用、公

益社における湯灌事業の新設を行いました。

これらは、第I期中期経営計画「成長のための基盤整備」の一環であり、会社を統合することによるコスト削減を進め、厳しい環境下においても利益を確保できる体制を目指します。

また、統合により新たな体制となった(株)公益社では、お客様へ提供するサービスを一元化し、事前相談から葬儀後の各種サービスを提供する仕組みを再構築し、サービス力を強化いたします。



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

持株会社である燦ホールディングス株式会社のもとに、グループ会社5社で葬祭事業および葬祭関連事業を展開しています。



葬祭事業



株式会社 公益社

首都圏および近畿圏で葬祭サービスを展開しています。平成23年10月1日付のグループ再編に伴いまして、事前相談からご遺族のサポートまで、一連のサービスを通じて、より質の高いサービスをお客様へ提供する体制が整いました。



株式会社 葬仙

鳥取県米子市を中心に、山陰地方で葬祭サービスを展開しています。平成17年に燦ホールディングスグループの一員となりました。



株式会社 タルイ

兵庫県明石市を中心に、兵庫県南部で葬祭サービスを展開しています。平成18年に燦ホールディングスグループの一員となりました。

葬祭関連



株式会社 デフィ

葬儀および法事の際の生花および料理を提供しています。また、日本料理「なごみ庵きたはま」(3店舗)を運営しています。



エクセル・スタッフ・サービス株式会社

セキュリティ業務(夜間警備・交通誘導)および清掃・施設管理業務を受託しています。

Consolidated Financial Statements

連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)
[資産の部]		
流動資産	3,422	3,572
現金及び預金	2,394	2,360
営業未収入金	420	538
商品及び製品	162	164
繰延税金資産	249	244
その他	195	264
固定資産	21,600	21,271
有形固定資産	18,126	17,992
建物及び構築物	7,708	7,584
土地	10,002	10,002
その他	416	406
無形固定資産	1,279	1,154
投資その他の資産	2,194	2,124
資産合計	25,022	24,843

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)
[負債の部]		
流動負債	2,962	2,797
営業未払金	600	609
短期借入金	300	315
1年内返済予定の長期借入金	612	537
賞与引当金	416	411
その他	1,033	924
固定負債	3,129	2,875
社債	1,500	1,500
長期借入金	1,035	789
その他	594	586
負債合計	6,092	5,673
[純資産の部]		
株主資本	18,930	19,169
資本金	2,568	2,568
資本剰余金	5,488	5,488
利益剰余金	11,886	12,126
自己株式	△ 1,013	△ 1,013
純資産合計	18,930	19,169
負債純資産合計	25,022	24,843

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 〔平成22年4月1日～ 平成22年9月30日〕	当第2四半期連結累計期間 〔平成23年4月1日～ 平成23年9月30日〕
営業収益	8,456	8,865
営業費用	7,256	7,210
営業総利益	1,200	1,654
販売費及び一般管理費	896	893
営業利益	304	761
営業外収益	27	20
営業外費用	33	28
経常利益	298	754
特別利益	1	0
特別損失	35	10
税金等調整前当期純利益	263	743
法人税、住民税及び事業税	187	371
法人税等調整額	19	21
四半期純利益	55	351

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 〔平成22年4月1日～ 平成22年9月30日〕	当第2四半期連結累計期間 〔平成23年4月1日～ 平成23年9月30日〕
営業活動による キャッシュ・フロー	216	630
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 602	△ 206
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 528	△ 450
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 914	△ 26
現金及び現金同等物の 期首残高	2,468	2,386
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,554	2,360

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Financial Highlights

連結業績の推移

第2四半期 期末

1 資産

流動資産は、営業未収入金が1億17百万円増加したことを主な要因として、1億49百万円増の35億72百万円となりました。固定資産は、「公益社 住吉御影会館」の開設(平成23年5月オープン)に伴い、建物および構築物が増加したものの、設備投資を上回る減価償却費の計上により、有形固定資産が1億34百万円減少し、さらに、のれん償却額の計上によるのれんが1億3百万円、不動産信託受益権が30百万円減少したことを主な要因として、3億29百万円減の212億71百万円となりました。

2 純資産

四半期純利益3億51百万円を計上した一方、配当金を1億12百万円支払った結果、純資産合計は2億39百万円増の191億69百万円となり、自己資本比率は前期末比1.5ポイント増の77.2%となりました。

3 営業収益

公益社において葬儀件数が前年同期比0.8%増加したことに加えて、葬儀単価の上昇により、平成22年6月から葬儀における料理の取引形式を変更し手数料収入とした影響があるものの、営業収益が前年同期比4.8%増の88億65百万円となりました。

4 営業利益

営業収益の増加に加えて、仕入コスト削減を主な要因として、営業費用が前年同期比0.6%減少した結果、営業利益は、前年同期比150.1%増の7億61百万円となりました。また、営業利益率も5.0ポイント向上し、8.6%となりました。

5 キャッシュ・フロー

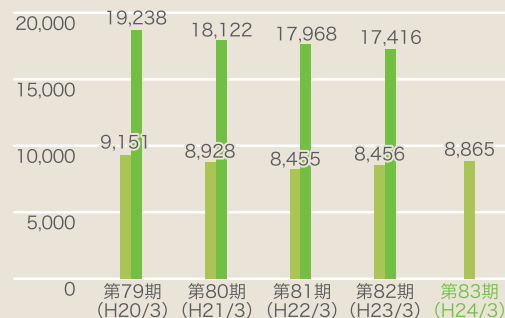
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7億43百万円、減価償却費3億73百万円、のれん償却額1億3百万円等により増加した一方、法人税等の支払いによる支出4億8百万円、売上債権の増加額1億17百万円等による減少により、前年同期比4億14百万円増の6億30百万円の資金増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2億5百万円による減少等により、前年同期比3億95百万円減の2億6百万円の資金減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出3億21百万円、配当金の支払額1億12百万円により、前年同期比78百万円減の4億50百万円の資金減となりました。

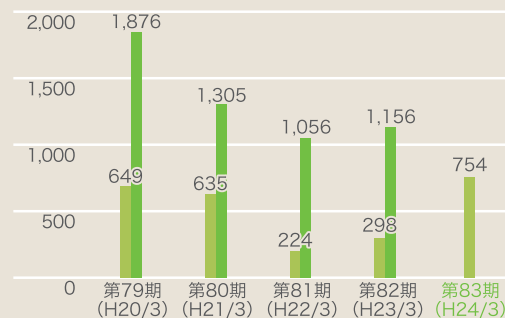
営業収益

(単位:百万円)



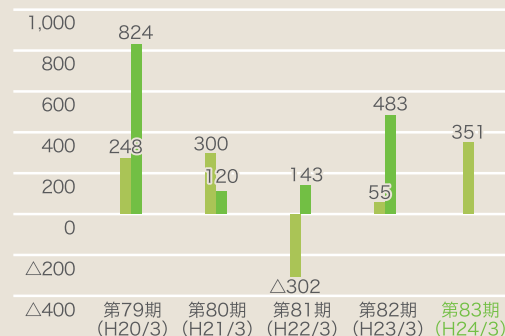
経常利益

(単位:百万円)



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

知っておきたい豆知識 vol.2

そもそも、「グリーフケア」の意味は？

グリーフとは大切な人との死別による悲嘆のことです。大切な人を亡くして悲

嘆にくれるのは自然なことであるにもかかわらず、悲しみや怒り、自責の念、不安、孤独感などの感情を誰かに打ち明けることができず、一人で苦しみや不安を抱えが

ちです。また、悲嘆反応は心理的のみならず身体的症状としてもあらわれることがあります。そうした悲嘆のなかにある人たちに支援することがグリーフケアです。

グリーフケアは、カウンセラーや精神科医などの専門家、公的機関だけでなく、遺族同士、家族・親族、友人知人、医療従事者・宗教者・葬儀会社などによっても行うことができます。その中でも特に、同じような死別体験をした者同士が話をし悲嘆の苦しみや不安を分かちあうことに



「ひだまりの会」から生まれたNPO法人「遺族支援愛ネット」

公益社との協働により、人生の豊かさに目を向けた生活への移行を支援。

よって悲嘆が和らぐことが知られています。

燦ホールディングスグループの中核会社である公益社が2003年12月に設立した「ひだまりの会」は、会員となった遺族が集う「月例会」から始まりました。月例会は、グリーフケアの専門家による講演と「分かち合い」の二部構成で行われています。



公益社の遺族サポート「ひだまりの会」

2003年にスタートし、2011年9月末現在で会員数約700名。

【葬祭施設ネットワーク】2011(平成23)年11月30日現在

公益社 (首都圏)	公益社 用賀会館 公益社 明大前会館 公益社 田園調布会館 公益社 雪谷会館 公益社 会館 たまプラーザ	東京都世田谷区瀬田3-6-8 東京都杉並区和泉2-8-6 東京都世田谷区東玉川2-30-9 New 東京都大田区南雪谷2-1-7 横浜市青葉区美しが丘2-21-4
公益社 (近畿圏)	公益社 千里会館 公益社 枚方会館 公益社 正俊寺会館 公益社 守口会館 公益社 高槻会館 公益社 豊中会館 公益社 吹田会館 公益社 東大阪会館 公益社 堺会館 公益社 なかもず会館 公益社 共善はびきの会館 公益社 岸和田会館 公益社 天神橋会館 公益社 西田辺会館 公益社 玉出会館 公益社 城東会館 公益社 森小路会館 公益社 高雄会館 公益社 学園前会館 公益社 西宮山手会館 公益社 住吉御影会館 公益社 宝塚会館	吹田市桃山台5-3-10 枚方市山之上東町1-1 枚方市長尾宮前2-2-1 守口市大日町3-4-28 高槻市野見町4-4 豊中市南桜塚1-21-4 吹田市内本町1-21-3 東大阪市俊徳町1-6-28 堺市堺区宿屋町西1丁-1-27 堺市北区中百舌鳥町2丁-322-1 羽曳野市恵我之荘3-4-25 岸和田市上野町東5-1 大阪市北区天神橋4-6-39 大阪市阿倍野区阪南町5-16-1 大阪市西成区玉出西1-3-4 大阪府城東区関目1-21-20 大阪府大阪市旭区今市2-22-7 New 奈良市高雄北1-7-7 奈良市学園大和町2-110-3 New 西宮市城ヶ掘町1-40 神戸市東灘区住吉宮町7-3-8 New 宝塚市小浜2-2-63

葬 仙 (山陰地方)	鳥取ホール 吉方ホール 岩美ホール 米子葬祭会館 安倍ホール 福米ホール 境港ホール 余子ホール 安来ホール 松江葬祭会館 比津ホール 東出雲ホール 大東ホール	鳥取県鳥取市商栄町171 鳥取県鳥取市吉方153-7 鳥取県岩美郡岩美町浦富645-9 鳥取県米子市長砂町1075 鳥取県米子市安倍51 鳥取県米子市新開6-3-15 鳥取県境港市上道町3588 鳥取県境港市竹内町1864-2 島根県安来市安来町977 島根県松江市東津田町1738 島根県松江市比津町31 島根県八束郡東出雲町錦浜583-23 島根県雲南市大東町飯田28-1
タルイ (兵庫県南部)	タルイ会館 舞子 タルイ会館 大蔵谷 タルイ会館 新明 タルイ会館 林崎 タルイ会館 大久保 タルイ会館 魚住 タルイ会館 土山 タルイ会館 東古川	神戸市垂水区舞子坂4-5-20 明石市大蔵町2-16 明石市新明町9-52 明石市林崎町2-3-2 明石市大久保町松陰1111 明石市魚住町中尾345-1 明石市二見町福里549-1 加古川市平岡町一色74

会社概要

2011(平成23)年9月30日現在

商号	燦ホールディングス株式会社
本社所在地	大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 京阪神御堂筋ビル8階 TEL:06-6208-3331(代表)
	東京本社 〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館14階 TEL:03-5770-3301(代表)
創業	1932(昭和7)年8月
資本金	25億6,815万円
事業内容	持株会社事業、不動産事業、管理業務受託事業
グループ会社	葬祭事業

株式会社公益社 <首都圏・近畿圏>
株式会社葬仙 <山陰地方>
株式会社タルイ <兵庫県南部>

葬祭関連事業

株式会社デフィ
生花・料理の提供/
日本料理レストラン「なごみきたはま」の運営

エクセル・スタッフ・サービス株式会社
セキュリティ業務・清掃・施設管理の受託

役員

2011(平成23)年6月23日現在

代表取締役会長	播島 幹長
代表取締役副会長	小西 幸治
代表取締役社長	古内 耕太郎
取締役副社長	播島 聰
取締役副社長	野呂 裕一
常務取締役	鈴江 敏一
常務取締役	的羽 元司
取締役	大井 信三
社外取締役	棚橋 康郎
常勤監査役	三神 明
社外監査役	森野 實彦
社外監査役	秋山 哲
社外監査役	榎本 圭吾
常務執行役員	宮島 康子
執行役員	森 弘幸

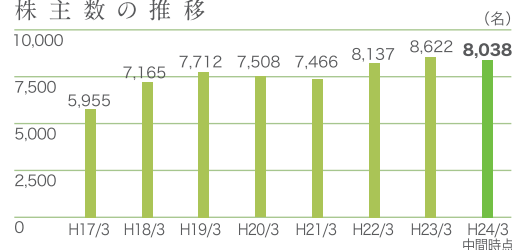
株式の状況

2011(平成23)年9月30日現在

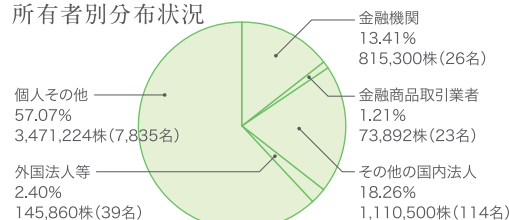
発行可能株式総数 21,000,000株

発行済株式の総数 6,082,008株

株主数の推移



所有者別分布状況



※上記構成には当社所有の自己株式465,232株(7.65%)は含みません。



<http://www.san-hd.co.jp>

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとして、
IR 情報や会社情報など様々な情報をご案内しております。



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

株主メモ

証券コード / 9628

事業年度 / 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 / 毎年6月

基準日 / 定時株主総会 毎年3月31日

／ 期末配当金 毎年3月31日

／ 中間配当金 毎年9月30日(その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。)

単元株式数 / 100株

株主名簿管理人および / 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 / 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) / 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) / ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL) / <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告方法 / 日本経済新聞に掲載します。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

お問い合わせ先

IR担当 / TEL.06-6226-0038 FAX.06-4707-8784

ご提供資料 / 事業報告書(中間事業報告書) アニュアルレビュー

Eメールアドレス / ir@san-hd.co.jp

※この冊子についてのお問い合わせは、上記IR専用電話番号までお願いいたします。